

第 52 回修習技術者支援セミナー報告

1. 実施概要

日時：令和 6 年 3 月 1 日（金）14：00～16：40

会場：愛媛大学工学部 2 号館 4 階 421 会議室

参加者：16 名

（会員 5 名、非会員 2 名、修習技術者 9 名）



セミナー会場の様子

2. 講義「技術士試験と修習のあり方について」

講演時間：14：00～14：30

講師：井上 博喜 修習技術者支援委員

井上修習委員から技術士制度・試験や修習の目的・目標について講義があった。講義内容は修習ガイドブックの内容をベースに、試験制度の説明および技術者としてのコンピテンシーに基づいたものであり、修習技術者のみならず、それらを指導する立場にいる技術士にとっても意義のある内容であった。



井上修習技術者支援委員の講義

3. 技術士第二次試験合格者による体験談発表

講演時間 14:30～15:30

講師：合格体験談発表者 2 名

(1) 中村 希久帆 氏

【建設部門－道路】

自身の受験に至る経緯を振り返り、受験資格を得るまでの期間、毎年他の資格合格を積み重ね試験勉強へのモチベーション向上を図るといった取り組みの紹介があった。合格後の技術士としての活動内容等を発表いただいた。合格するには、明確な目標とそれに相応しい努力が必要との投げ掛けがあった。

明確な将来ビジョンを掲げ、受験に挑む意識は受講者にも共感できる部分が多かったと思われ、非常に参考になった。



中村 希久帆 氏

(2) 三好 俊貴 氏

【建設部門－河川、砂防および海岸・海洋】

自身の受験申請時に記載した業務内容と技術士で求められる各コンピテンシーを照らし合わせた、具体的な説明があった。加えて、技術士合格前後での担当業務の変化とともに、技術士として取り組んでいる具体的な業務内容の紹介があった。

これから、技術士試験の受験を目指す受講者には留意すべき点等含め非常に参考になった。



三好 俊貴 氏

4. 修習技術者による発表

講演時間：15:40～16:40

講師：修習技術者2名

(1) 芝 泰雅 氏

【技術士補-建設部門、
民間企業-建設コンサルタント所属】

修習事例として、自身の自己研鑽として、専門技術能力の向上のためには、専門外の知識習得も重要と考え、講習会に参加している取り組み紹介があった。また、他者とのコミュニケーションにより視野を広げつつ、その場面で必要とされる評価分析能力を強化することで、業務遂行能力の向上が図られるとの説明があった。

修習技術者のみならず、その指導者も修習技術者の目線を認知するにおいて、非常に参考になった。



芝 泰雅 氏

(2) 岩淵 友梨 氏

【建設部門、大学院生】

自身の大学での実際の研究活動を題材に、マネジメント・コミュニケーション・課題解決といったテーマに照合した紹介があった。さらに、自身が目指す技術者像達成のため、語学力向上や論理的思考の醸成を意識し研究活動を進めるとの説明があった。

技術者コンピテンシーを学生目線での具体的な話題であり、学生修習技術者の道標として非常に参考になった。



岩淵 友梨 氏